

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人
大山町社会福祉協議会

法人運営・地域福祉事業

1. 社会福祉協議会組織の運営

(1) 会議の開催

① 理事会の開催

【第1回理事会】

期日・会場	令和5年6月1日(木) 保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名 監事2名
議案	第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について (監査報告) 第2号議案 令和5年度大山町社会福祉協議会会長表彰について 第3号議案 新理事及び監事候補者の選定について 第4号議案 令和5年度第1回評議員会(定時評議員会)の開催について
審議の結果	第1号～第4号議案原案どおり決議

【第2回理事会】

期日・会場	令和5年6月21日(水) 保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事6名 監事2名
議案	第1号議案 会長及び副会長の選任について 第2号議案 令和5年度第1次補正予算について 第3号議案 令和5年度第2回評議員会の開催について(決議の省略による開催)
審議の結果	第1号～第3号議案原案どおり決議

【第3回理事会】

期日・会場	決議の省略(書面決議)の方法により行なう(通知日:令和5年7月10日)
構成人数	理事7名 監事2名
議案	第1号議案 評議員選任・解任委員の選任について
審議の結果	第1号議案原案どおり決議

【第4回理事会】

期日・会場	令和5年9月14日(木) 保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事7名 監事2名
議案	第1号議案 事務専決規程一部改正について 第2号議案 就業規則一部改正について 第3号議案 臨時職員就業規程一部改正について 第4号議案 給与規程一部改正について 第5号議案 令和5年度第3回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第5号議案原案どおり決議

【第5回理事会】

期日・会場	令和5年12月13日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事6名 監事2名
議案	第1号議案 令和5年度第2次補正予算について 第2号議案 経理規程一部改正について 第3号議案 令和5年度第4回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第3号議案原案どおり決議

【第6回理事会】

期日・会場	決議の省略(書面決議)の方法により行なう(通知日:令和6年2月5日)
構成人数	理事7名 監事2名
議案	第1号議案 新評議員候補者の推薦について 第2号議案 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
審議の結果	第1号～第2号議案原案どおり決議

【第7回理事会】

期日・会場	令和6年3月14日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	理事6名 監事2名
議案	第1号議案 令和5年度第3次補正予算について 第2号議案 令和6年度事業計画について 第3号議案 令和6年度予算について 第4号議案 役員等賠償補償について 第5号議案 令和5年度第5回評議員会の開催について
審議の結果	第1号～第5号議案原案どおり決議

②評議員会の開催

【第1回評議員会(定時評議員会)】

期日・会場	令和5年6月21日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員12名 理事2名 監事2名
議案	第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について (監査報告) 第2号議案 理事及び監事の選任について
審議の結果	第1号～第2号議案原案どおり決議

【第2回評議員会】

期日・会場	決議の省略(書面決議)の方法により行なう(通知日:令和5年6月28日)
構成人数	評議員12名
議案	第1号議案 令和5年度第1次補正予算について
審議の結果	第1号議案原案どおり決議

【第3回評議員会】

期日・会場	令和5年9月28日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員11名 理事2名 監事2名
議案	第1号議案 就業規則一部改正について 第2号議案 臨時職員就業規程一部改正について 第3号議案 給与規程一部改正について
審議の結果	第1号～第3号議案原案どおり決議

【第4回評議員会】

期日・会場	令和5年12月21日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員10名 理事2名 監事2名
議案	第1号議案 令和5年度第2次補正予算について
審議の結果	第1号議案原案どおり決議

【第5回評議員会】

期日・会場	令和6年3月28日(木)保健福祉センターだいせん
出席の状況	評議員11名 理事2名 監事2名
議案	第1号議案 令和5年度第3次補正予算について 第2号議案 令和6年度事業計画について 第3号議案 令和6年度予算について 第4号議案 役員等賠償補償について
審議の結果	第1号～第4号議案原案どおり決議

③評議員選任・解任委員会の開催

期日・会場	令和6年2月26日(月)保健福祉センターだいせん
出席の状況	委員4名 理事1名
議案	第1号議案 大山町社会福祉協議会評議員の選任について
審議の結果	第1号議案原案どおり決議

④監査会の開催

【決算監査会】

期日・会場	令和5年5月17日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	監事2名 理事1名
監査事項	1. 令和4年度大山町社会福祉協議会業務の執行状況 2. 令和4年度大山町社会福祉協議会会計決算の状況 3. 令和4年度大山町社会福祉協議会資産の状況

【中間監査会】

期日・会場	令和5年11月20日(月)保健福祉センターだいせん
出席の状況	監事2名 理事1名
監査事項	令和5年度上半期事業報告及び予算執行状況について

【鳥取県法人指導監査】

期日・会場	令和5年10月11日(水)保健福祉センターだいせん
出席の状況	監事1名 理事1名
監査事項	令和4年度事業、計算書類について

⑤役員研修等の参加・実施

【地域福祉県民講座「第45回緑陰大学」】

期日・会場	令和5年6月20日(火)ハワイアロハホール
出席の状況	5名(役員、評議員、職員)
内容	<p>【講演1】 不思議な「ありがとう」のチカラ (講師)詞画家 日本一無口な絵描き 河村武明 氏</p> <p>【講演2】 私は創造的でありたい～人生に「もう遅い」はない～ (講師)IT エヴァンジェリスト デジタルクリエイター 若宮正子 氏</p>

【県民総合福祉大会】

期日・会場	令和5年8月31日(木)倉吉未来中心
出席の状況	6名(役員、評議員、職員)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰式(県知事、県社協会会長ほか) ・活動発表「ピアサポートの活動から見えてきたもの」NPO 法人サポートつむぎ ・アトラクション「とっとりいきいきシニアバンク 鳥取県フォークダンス連盟」 ・記念講演 「いつまでもいきいき元気に!健康寿命を延ばす簡単筋トレ法」 (講師)順天堂大学先任准教授、日本オリンピック委員会医科学スタッフ、 日本ボディビル連盟医科学委員 谷本道哉 氏

【市町村社会福祉協議会役員セミナー】

期日・会場	令和5年9月26日(火)倉吉未来中心小ホール
出席の状況	6名(役員、職員)
内容	【テーマ】市町村社協法制化40周年を迎えこれからの地域共生社会を考える

【市町村社会福祉協議会ガバナンス研修会】

期日・会場	令和6年2月21日(水)オンライン開催
出席の状況	11名(役員、評議員、職員)
内容	<p>【講演】「社会福祉法人の存在意義と内部統制」 (講師)ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社 代表取締役社長 谷本正徳 氏</p>

【大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会】

期日・会場	令和6年1月31日(水) 保健福祉センターなわ
出席の状況	委員12名 大山町事務局3名 社協事務局2名
協議事項	1. 委員長、副委員長の互選について 2. 第4次大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画進捗状況について

(2) 法人の運営管理

【運営会議】

回数	期日	内容
第1回	令和5年4月27日(木)	労働基準監督署による臨時検査報告 ほか
第2回	令和5年5月29日(月)	決算監査報告、今年度研修計画について ほか
第3回	令和5年6月27日(火)	理事会報告 ほか
第4回	令和5年8月29日(火)	令和5年度上半期自己評価について ほか
第5回	令和5年9月27日(水)	大山町第9期介護保険計画策定委員会報告 ほか
第6回	令和5年10月27日(金)	法人指導監査等報告 ほか
第7回	令和5年11月28日(火)	両センター指定管理について ほか
第8回	令和5年12月27日(水)	市町村社協事務局長会議報告 ほか
第9回	令和6年1月29日(月)	令和6年度介護報酬改定について ほか
第10回	令和6年2月28日(水)	新評議員就任、下半期自己評価について ほか
第11回	令和6年3月27日(水)	介護報酬改定、令和6年度職員研修について ほか

【虐待防止並びに身体拘束適正化検討委員会】

期日	内容
令和6年3月6日(水)	各指針の内容確認、令和6年度関連研修について ほか

【職員研修】

開催日	研修名	参加者数
令和5年4月28日(金)	コンプライアンス研修	33名
令和5年5月23日(火)	接遇研修	27名
令和5年7月7日(金)	感染症・食中毒予防研修	33名
令和5年7月24日(月)~25日(火)	救命救急研修	35名
令和5年8月25日(金)	虐待防止・身体拘束適正化研修	23名
令和5年10月24日(火)	プライバシー保護に関する研修	27名
令和5年11月20日(月)	認知症研修	35名
令和5年12月20日(水)	腰痛予防研修	28名
令和6年2月22日(木)	交通安全研修	37名
令和6年3月5日(火)	職員健康指導会	34名
令和6年3月19日(火)	人権研修(ヤングケアラーについて)	34名

(3) 社協会費納入状況

種別	件数		金額(円)	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
普通会費	4,314	4,246	4,314,000	4,246,000
賛助会費	29	36	66,000	72,000
特別会費	36	36	210,000	215,000
合計	4,379	4,318	4,590,000	4,533,000
考察・評価	<p>今年度より普通会費の依頼先を区長に統一し、また利便性を考慮し、振込納入可能な金融機関を増やしている。最終実績では普通会費については昨年度より減少。賛助会費、特別会費については役職員で新規、復活の会員勧誘活動を実施し、微増となった。しかし全体では減少傾向が続いている。今後もできる限り顔を合わせ、関係を作っていくことが大切だと感じた。</p>			

(4) 香典返し等寄付金状況

種別	件数		金額(円)	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
香典返し	166	167	2,778,000	2,818,900
見舞い返し	1	0	5,000	0
一般寄附	5	4	408,000	25,895
その他(物品)	3	2	0	0
合計	175	173	3,191,000	2,844,795

(5) 広報・啓発活動の充実

【広報誌「ほほえみ」の発行】

号数	発行月	主な内容
92号	令和5年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけサロンについて ・令和5年度大山町社会福祉協議会事業計画、事業収支予算書 ・防災グッズ配布事業について ・令和5年度大山町社会福祉協議会会費納入について ・事業報告(地域福祉推進員研修会) ・地域密着型通所介護ほほえみ事業紹介 ・事業報告(男の料理塾) ・参加者募集コーナー(男の料理塾、家族介護教室) ・大山町社会福祉協議会組織図、新規職員紹介について 他
93号	令和5年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ブザー配布について ・令和4年度事業報告及び決算、令和4年度資金収支計算書 ・おでかけサロンについて ・集落レストランについて ・就労準備支援事業「一步一步」の事業紹介 ・パーソナルサポートセンターだいせんについて

号数	発行月	主な内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告(男の料理塾) ・事業報告(家族介護教室) ・各種研修会のお知らせ ・ボランティア募集、ボランティア活動保険について
94号	令和5年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みチャレンジスクールについて ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金について ・リユース事業リテラスについて ・参加者募集コーナー(男の料理塾、託児ボランティア研修会) ・事業報告(男の料理塾) ・地域福祉座談会について ・地域で学防災開催報告について ・令和5年度地域福祉推進研修会開催報告について ・令和5年度大山町社会福祉協議会会長表彰について ・大山町社会福祉協議会理事・監事の紹介 ・令和5年度会費納入についてのお礼 ・センターなかやま・センターだいせんの施設紹介
95号	令和6年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育(高齢者疑似体験・車イス体験)について ・新年のご挨拶 ・リユース事業リテラスについて ・大山町共同募金委員会より募金額の報告 ・共同募金配分金活用助成事業についてのお知らせ ・ふれあいいいききサロンについて ・地域密着型通所介護ほほえみ、通所介護だいせんの紹介 ・参加者募集コーナー(男の料理塾、家族介護教室) ・事業報告(男の料理塾、家族介護教室) ・町内のボランティア団体のご紹介 ・大山町ボランティアセンターよりお知らせ
考察・評価		<p>年4回、8ページの構成で発行。住民にむけて福祉に関する情報を提供できるように作成を行なった。住民が求めている情報は何か、またどのような構成が伝わりやすいのかを模索しつつ、今後もより良い広報誌の作成に努めていきたい。</p>

【ホームページ、SNS(Facebook)等の運営】

考察・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・Facebook について 各事業所(通所だいせん、地域密着ほほえみ、福祉総務課)ごとに、各週で記事を投稿。事業所ごとでの行事または研修会等の案内、各種事業等の告知・説明を行っており、地域住民や他団体に向けて情報提供を行なった。 ・Instagram について 各事業各事業所(通所だいせん、地域密着ほほえみ、福祉総務課)ごとに定期的に記事を投稿。社内の雰囲気やより住民に理解してもらえるようキャッチーな内容での投稿を行なった。運用当初よりもフォロワー数が増加しており、県内外のたくさんの方が見ている状況である。 今後も SNS の運用を行なっていき、当会への理解・共感・協力の体制づくりを行なっていきたい。
-------	--

(6) 生計困難者に対する相談支援事業(えんくるり事業)

支援人数	4名 (令和4年度 2名)	延べ支援回数	6回 (令和4年度 3回)
支援内容	ガス料金/食料品/医療費		
考察・評価	<p>食料品や滞納解消によるライフラインの確保など、緊急かつ既存の制度の対象とならない相談に対応すべく、鳥取県社会福祉協議会を基幹とした県内社会福祉法人共同の支援事業を実施している。</p> <p>【支援1】滞納によりガスの供給を止められた世帯へのガス料金支給</p> <p>【支援2】生活保護決定までの食料品現物支給</p> <p>【支援3】救護施設入所のための医療機関受診費用</p> <p>【支援4】生活保護決定までの食料品現物支給</p>		

2. 生活支援体制整備事業

(1) 地域福祉座談会の開催

考察・評価	令和5年度は20集落での開催を予定していたが、集落の都合により10集落が中止を希望。開催は10集落のみとなったが、多くの集落で社協事業への理解が深まったとの感想をいただくとともに、前集落では支え愛マップづくりの演習も実施することができた。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の事業紹介(地域福祉活動の説明) ・地域支え愛活動の紹介(DVD 視聴) ・支え愛マップの説明 		
開催集落数	10集落 (令和4年度 4集落)		
参加人数計	48人 (令和4年度 29人)		
【開催集落】			
集落名	日程	会場	参加人数
富長中	令和5年6月9日	富長中集会所	5名
野田	令和5年7月7日	野田公民館	7名
文珠領	令和5年7月14日	古文原ふるさと会館	4名
報国	令和5年7月21日	報国公民館	6名
東高田	令和5年8月18日	東高田集会所	5名
大山口	令和5年9月1日	大山公民館	14名
押平	令和5年9月8日	押平集会所	7名
前	令和5年10月6日	前公民館	16名
国信	令和6年3月1日	国信公民館	12名
御来屋2区	令和6年3月8日	漁村センター	5名

(2) 生活支援コーディネーター活動状況

	期日・会場	協議内容	参加数
1	4月24日(月) 保健福祉センターなわ	【打ち合わせ】 ・各関係機関の令和5年度活動方針について ・令和5年度の定例会議について	8名
2	5月22日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・関係機関の令和4年度活動報告および事業説明 ・意見交換「地区毎の状況について」	29名
3	6月19日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・ウェルビーイング研究所(おせっかい人)活動報告 ・意見交換「地区毎の困りごとと連携について」	29名
4	7月21日(金) 大山公民館大山分館	【地域医療を考える会(まちづくり大山主催)】 ・社協SC講義「地域で取り組む認知症予防」	25名
5	7月24日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・社協SC活動報告「サロンの現状と効果について」 ・意見交換「通いの場の新規開拓について」	39名
6	9月7日(木) 保健福祉センターなわ	【地域ケア推進会議】 ・社協SC「SCの活動から見えてきたもの」 ・民児協会長「地域の活動で感じること」 ・役場企画課「デマンドバスについて」 ・社会教育課「各地の買物や外出支援について」	14名
7	9月25日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・役場企画課「自主組織の活動報告」 ・まちづくり大山活動報告 ・意見交換「保健推進員と福祉推進員の連携について」	32名
8	11月20日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・役場健康対策課 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」 「健康教室モデル事業経過報告」 ・意見交換「個別支援について」	29名
9	1月22日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・役場福祉介護課「認知症の理解」 ・意見交換「認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けるために」	31名
10	2月15日(木) 保健福祉センターなわ	【地域ケア推進会議】 ・社協SC「支え愛マップづくりについて」 ・役場総務課「町で取り組む防災力の向上対策」 ・民児協会長「地域の中で活動されて感じること」 ・社会教育課「地域での仕組みづくりについて」 ・役場福祉介護課「地域づくりについて」 ・加藤作業療法士「地域活動を通して考えること」 ・井上医師「地域との交流について」等	17名
11	3月18日(月) 保健福祉センターなわ	【シン・福祉ミーティング(定例会議)】 ・令和5年度における関係機関の活動報告 ・意見交換「サロン実施状況の確認とふりかえり」	34名
考察 評価	今年度よりウェルビーイング研究所の定例会議と地域自主組織の福祉ミーティングを一体化し、シン・福祉ミーティングとして定期的に会議を開催している。通いの場の新規開拓や継続開催をメインテーマに、毎回各関係機関の活動や取り組みについて共有。サロンの共同開催や関係機関主催の研修会参加など、地域のネットワーク構築が着実に進んでいる。		

(3) 有償ボランティア「ささえあいたい」利用等状況

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
延べ利用件数(件)	0	2	48	18	10	8	58	28
実利用件数(件)	0	1	1	1	3	3	4	5
援助会員数(名)	1	5	5	7	3	7	9	19
考察・評価	中山地区の独居高齢者より買物および外出同行支援の希望あり、同じく中山地区の援助会員が年度末より支援を開始した。援助会員数については、ボランティアセンター登録者に広報した結果10名の増となった。							

(4) 地域活動車「つなGo(ごう)カー」貸出事業

考察・評価	令和5年度は利用希望なし。休日貸出を望む意見もあるが、職員の休日対応が必要となるため慎重に検討している。
-------	--

3. さわやか福祉基金事業

(1) 地域福祉に関する調査活動

訪問件数	令和4年度	令和5年度
		59件
考察・評価	<p>平成30年に防災グッズを配布した世帯へ非常食の交換を兼ねて自宅訪問し、生活課題の聞き取り等行なった。必要に応じて介護保険サービスの紹介や、地域でのサロン活動、地域自主組織活動の紹介、社協や行政が実施している事業の紹介を行ない、介護保険サービスや生活保護など公的な支援を受けていない世帯については見守りと生活状況掌握の為に個別に訪問し、個々の現状を確認しながら年1回の訪問や3か月、6か月などケースに応じた対応を行なっている。</p> <p>地域や家族とも関わりが薄い高齢者や何らかの手立てが必要と思われるケースについては頻回に訪問を行ない、4件の介護保険サービス利用に繋がった。</p>	

(2) 地域福祉推進研修会の開催

【第1回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和5年7月30日(土) 中山温泉生活想像館わくわくホール		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉功労者表彰式 ・講演会「つながり支え合う町を目指して～つながりを絶やさないご近所づくり～」 講師 酒井 保 氏(ご近所福祉クリエイター)		
参加者	88名	被表彰者	22名 4団体
考察・評価	福祉功労者表彰式(大山町社会福祉協議会長表彰)と併せて開催。コロナ禍でサロンを中止している集落が多い中、サロンの再開を考える良い機会になった。参加者には地域の中での「つながり」の重要性を理解して頂けたと思われる。		

【第2回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和6年2月10日(土) 保健福祉センターなわ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大山町社会福祉協議会事業説明 ・福祉推進員の役割説明 ・「ふれあいいいきサロン」のススメ ・事例発表(内蔵集落 福祉推進員)
参加者数	113名(令和4年度 87名)
考察・評価	<p>第2回の研修会は、サロンに特化した内容で行なった。社協事業・福祉推進員の役割を説明。参加者と共にサロンで実際行なっている「とっとりけん認知症予防体操」を行ない、その後、福祉推進員による事例発表をしていただいた。身近な方の事例発表を聞かれたことで福祉推進員の役割に対し理解を深めることができたのではないかと思う。</p>

(3) 地域見守り事業

「集落レストラン」実施状況

開催日	開催地区	参加者数	考察・評価
令和5年4月14日	八重	13名	<p>令和5年度より新規開催された集落もあり、計4集落が実施。集落によっては、地域のボランティアや地域団体と共同で継続実施されており、地域住民との関わる機会の創出に繋がっている。SNS等の広報により町民への周知が進んでおり、開催を検討している集落も見られる。</p>
令和5年4月18日	坊領	33名	
令和5年5月29日	国信	28名	
令和5年6月13日	坊領	35名	
令和5年7月2日	八重	12名	
令和5年8月2日	坊領	50名	
令和5年8月20日	八重	12名	
令和5年10月10日	坊領	43名	
令和5年10月22日	八重	11名	
令和5年11月19日	八重	9名	
令和5年11月27日	国信	28名	
令和5年12月16日	八重	10名	
令和5年12月22日	羽田井	32名	
令和6年3月18日	国信	35名	

(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアに関する相談・登録・斡旋状況

	令和4年度	令和5年度
ボランティア登録者数	66名	69名
依頼件数	38件	46件
斡旋件数	31件	120件
延べ派遣人数	112名	246名

②ボランティア派遣状況

事業名	依頼者	活動場所	内容	活動日数	人数
離乳食講習会	こども課	保健福祉センター なわ	託児	6日	37名
男の料理塾	大山町社会福祉 協議会	保健福祉センター なわ	調理	4日	17名
介護ボランティア	個人	ばんだの里	介護	4日	4名
ハッピー子育て プログラム	こども課	保健福祉センター なわ	託児	5日	25名
ファミリーサポート 交流会	大山町ファミリー サポートセンター	保健福祉センター なわ	託児	5日	15名
マラソン大会	名和小学校	グラウンド及び 学校周辺道路	見守り	2日	12名
朗読ボランティア	地域密着型 通所介護ほほえみ	地域密着型 通所介護ほほえみ	朗読	14日	16名
幼児食講習会	こども課	保健福祉センター なわ	託児	2日	13名
傾聴ボランティア	地域密着型 通所介護ほほえみ	地域密着型 通所介護ほほえみ	傾聴	38日	31名
全日本トライアスロン 皆生大会	観光課	大山町内	見守り	1日	6名
成人検診	健康対策課	保健福祉センター なわ	託児	2日	3名
傾聴ボランティア	通所介護だいせん	通所介護だいせん	傾聴	25日	28名
ペアレントサポート プログラム	こども課	保健福祉センター なわ	託児	6日	21名
花回廊外出 ボランティア	通所介護だいせん	通所介護だいせん 花回廊	見守り	8日	5名
高齢者擬似体験	大山町社会福祉 協議会	中山小学校 名和小学校	福祉 教育	2日	4名
車椅子体験	大山町社会福祉 協議会	中山小学校 名和小学校	福祉 教育	2日	4名
高齢者擬似 ・車椅子体験	大山町社会福祉 協議会	大山小学校	福祉 教育	1日	1名
町映画上映会	こども課	中山温泉生活想像館	託児	1日	3名
町成人健康診査	健康対策課	中山生活想像館	託児	1日	1名
ゲートキーパー 研修会	健康対策課	保健福祉センター なわ	託児	1日	2名

③ボランティアセンターの充実強化

【ボランティア連絡協議会の開催】

期日	内容
令和5年6月26日(月)	・各団体の活動報告 ・清掃活動について ・役員改選について
令和5年10月30日(月)	・各団体の活動報告 ・ボランティアポイント「ささエールポイント」について ・令和6年度ボランティアフェスティバルについて
令和6年2月26日(月)	・各団体の活動報告 ・ボランティアポイント「ささエールポイント」について ・令和6年度ボランティアフェスティバルについて

④ボランティア活動啓発・育成事業

【企業向け手話教室】

期日・会場	4月21日(金) ホテル大山しろがね
参加者数	11名(令和4年度 10名)
考察・評価	「ホテル大山しろがね」は、昨年から継続的に手話教室を開催されている。今年度は2カ月に1回自主的な教室を開催されるようになった。12月には企業内で手話試験も実施される。

【地域で学防災(まなぼうさい)】

期日・会場	令和5年8月26日(土)
参加者数	16名(令和4年度 13名)
考察・評価	日野ボランティアネットワークの山下弘彦様を講師に迎え、「地域で取り組む防減災活動」と題してお話いただく。開催日前に鳥取県東部で大雨災害があり、直近の様子も伝えて下さることで、災害を身近に感じ意識を高める研修会となった。 広報誌や SNS で参加者募集を行ない、ボランティア登録者や民生委員、役場職員による参加があった。次年度以降、地域住民から自主的に参加いただけるような募集方法、事業内容の検討が必要。

【第1回 男の料理塾】

期日・会場	令和5年5月19日(金) 保健福祉センターだいせん
参加者数	13名
考察・評価	今年度より、年4回(5月、8月、11月、2月)の計画となる。大山町婦人会の5名にご指導していただきながら、「いただき、すまし汁、季節の和え物、みるくもち」を調理。前回の参加者も多く、参加者同士の繋がりも生まれている。

【第2回 男の料理塾】

期日・会場	令和5年8月18日(金) 保健福祉センターだいせん
参加者数	15名
考察・評価	調理ボランティアグループ「ひまわり」の5名にご指導いただきながら、「肉うどん、ナスの煮びたし、きのこのとろとろ冷やっこ、コーヒーゼリー」を調理。今回は、町内で活動している「暮らしの保健室」のおせっかい人4名も参加され、調理や食事を通じて日頃の何気ない話や健康相談など、交流の機会を作る。新規参加者も多く、新たな繋がりも生まれた。参加者の中には、暮らしの保健室の活動に興味を持たれた方もおられ、他機関をつなぐ場となり、今後も定期的に招いて行なっていく。

【第3回 男の料理塾】

期日・会場	令和5年11月22日(水) 保健福祉センターだいせん
参加者数	17名
考察・評価	大山町婦人会の5名にご指導していただきながら、「大山おこわ、味噌汁、ツナたまぶろっこりサラダ」を調理。大山おこわは文化祭等で販売されているため、その味を学べると新規参加者も多い。参加者の中には、地域自主組織の代表や集落の集いの場の世話人もおられたため、各団体で行なっている活動紹介の時間を設ける。参加者の中で興味を持たれる方もおられ、地域活動を知ると同時に繋げる良い機会となった。

【第4回 男の料理塾】

期日・会場	令和6年2月16日(金) 保健福祉センターだいせん
参加者数	12名
考察・評価	調理ボランティアグループ「ひまわり」の4名にご指導いただきながら、「土鍋で炊くご飯、さばの味噌煮、けんちん汁、なます」を調理。災害時、電気が使用できなくなった場合にどのように調理をするのかを学ぶきっかけになれば、と企画した。調理、会食の他に、参加者の得意な事を披露してもらう場を設けたことで、とても賑やかな集い場となった。以前と比べると住民への周知は広がってきているが、参加者が固定化しているのが現状で、今後新規参加者を増やしていくことが課題となる。

【託児ボランティア研修会】

期日・会場	令和5年11月4日(土) 福祉センターなかやま
参加者数	11名 (令和4年度 9名)
考察・評価	特定非営利活動法人こども未来ネットワークの渡部万里子様を講師に迎え、「令和時代の託児ボランティア心得」と題し、令和の子育て事情やメディアの活用方法、おもちゃや絵本の紹介をしていただく。広報誌やSNSでの広報により11名の参加者となったが、新規ボランティア登録には繋がらず、新たなボランティア登録者を増やすため、次年度以降、住民への周知方法や事業内容の検討が必要。

(5) 災害ボランティアセンター関連

【災害ボランティアセンター設置模擬訓練】

期日・会場	令和6年3月16日(土) 保健福祉センターだいせん
参加者数	職員41名
考察・評価	令和元年11月に模擬訓練を行なって以降、コロナの影響もあり長い間訓練ができていなかった。事前に担当者2名が日野ボランティアネットワークの協力を得て指導を受けた内容で行なったことで、参加者には色々な気づきがあった。毎年計画的に訓練を行なっていくことが重要。

(6) 福祉教育の推進

【福祉教育推進校助成】

町内小学校4校、中学校3校に合計303,000円助成

【福祉教育推進校連絡会】

期日・会場	令和5年6月21日(水) 保健福祉センターなわ
内容	・令和5年度福祉教育推進事業計画発表 ・福祉教育について ・赤い羽根共同募金について
参加者数	7名(町内小中学校福祉教育担当教職員)

【夏休みチャレンジスクール】

期日・会場	令和5年8月1日(火) 10:00~13:10 大山青年の家
参加者数	29名(小学生23名 保護者6名)
考察・評価	福祉教育の一環として、東京パラリンピックより正式種目となった「ボッチャ」と木の実や枝など自然にある物を使用した「クラフト作り」の体験を行なった。障害者スポーツや自然の大切さを学ぶと共に、普段関わりを持たない他学校の生徒と関わることで思いやる心の教育にも繋がった。

【高齢者疑似体験学習・車椅子体験学習】

期日	内容	会場	参加者数
10月31日(火)	大山西小学校 高齢者疑似体験	大山西小学校	34名
11月17日(金)	中山小学校 高齢者疑似体験	中山小学校	29名
11月24日(金)	名和小学校 高齢者疑似体験	名和小学校	45名
12月12日(火)	中山小学校 車椅子体験	中山小学校	29名
12月15日(金)	名和小学校 車椅子体験	名和小学校	45名
1月19日(金)	大山小学校 高齢者疑似・車椅子体験	大山小学校	13名
考察・評価	今年度は、福祉教育推進校連絡会で福祉教育について説明する機会を作ったことで、町内全小学校で福祉教育の実施に繋がる。高齢者疑似体験では、グループの1人に疑似体験グッズを装着しコース内を歩き他生徒は気づきを得る学習、車椅子体験は、全生徒に段差やスロープなどを含めたコースを設定し、乗る側と介助する側を体験するメニューで実施。体験を通して生活の不自由さを学ぶと同時に、どのようにしたら解決できるのかを考える時間となった。また、新たに2名の福祉教育サポーターが増え、地域と学校を繋ぐ機会にも繋がっている。		

(7) リユース事業「リテラス」

【学生服】

受付支所	大山支所、名和支所、中山支所	寄付数	16着
譲渡場所	大山支所	譲渡数	0着
考察・評価	寄付は全て中西部の高校の制服。3月頃に寄付数・譲渡数の増加を見込んでいたが、ともに増加はなし。数件、本事業に関する問い合わせがあったため、徐々に周知されていると考える。引き続き学校やSNS等において広報活動を行う。		

【学習机】

受付支所	大山支所、名和支所、中山支所	寄付数	0台
譲渡数	1台(※令和5年度上半期に寄付されたもの)		
考察・評価	学習支援の利用者へ譲渡。他事業の利用者の潜在的なニーズを本事業で対応することができたと考える。		

4. ふれあいのまちづくり事業

(1) 心配ごと相談

開設日	毎月第2水曜日(祝祭日は翌日)	相談員	民生委員
会場	保健福祉センターだいせん	相談件数	4件(令和4年度 5件)
考察・評価	<p>相談件数は、前年度5件に対し今年度は4件と減少。担当相談員については、当日やむを得ず調整がつかないこともあったが概ね2名体制で開設している。</p> <p>それぞれの相談内容については、相談者のプライバシーと関係者の個人情報に大きく関与するため、担当した相談員がその内容により、社会福祉協議会または行政に繋ぐ必要があると判断した場合においては、相談者に情報共有に係る同意書の記入をしてもらい、同意を得た上で相談内容を各関係機関と共有し、心配ごと相談をより一層解決できるようにした。</p>		

(2) 法律相談

開設日	毎月第4水曜日(祝祭日は翌日)	相談員	弁護士
会場	保健福祉センターだいせん	相談件数	46件(令和4年度 33件)
考察・評価	<p>前年度の33件と比べ増加。コロナ禍における困窮世帯増加の実情も近年の法律相談件数増加に少なからず影響していると考えられる。相談員は、鳥取県弁護士会より月ごとに違う弁護士事務所から1名相談員として来ていただいている。</p> <p>それぞれの相談内容については、相談者のプライバシーと関係者の個人情報に大きく関与する為、基本的に社会福祉協議会として把握をするよう努めてはいない。しかしながら、社会福祉協議会で委託を受けている生活困窮者自立支援事業の利用者が法律相談を受けた場合、または担当相談員がその内相談内容により社会福祉協議会または、行政などの関係機関を繋ぐ必要があると判断した場合においては、相談者の同意を得た上で相談内容を共有している。</p> <p>前年度より相談時間が30分になり、複合的な問題を抱えた相談内容に対し決して充分とは言えないが、超過し次の相談者に影響のない様工夫し案内している。</p>		

5. 日常生活自立支援事業

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 4年度	令和 5年度
利用件数	0	0	3	3	1	1	4	4
相談件数	0	0	4	3	2	2	6	5
終了件数	0	0	0	1	0	0	0	1
支援員(人)	0	0	3	3	2	2	5	5
利用延回数	0	0	27	27	5	9	32	36
利用者の内訳	高齢者4件							
相談件数内訳	高齢者2件 知的障がい者1件 精神障がい者1名							
終了件数内訳	高齢者1件							
考察・評価	相談件数の内訳で、高齢者に関する相談は昨年と比べて減っている。知的障がい者に関する相談は増減なし。精神障がい者に関する相談及び会議に出席。成年後見制度利用となり本事業の対象とはならなかった。いずれの相談も関係機関からの相談である。上記以外に、関係機関から高齢者に関する問合せあり。町外の支援に関する相談であったため、対象地域の窓口を紹介した。終了件数内訳では、利用者1名が亡くなられたため終了。							

6. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付利用状況

貸付種別	件数		考察・評価
	令和 4年度	令和 5年度	
新規相談件数	22	25	新型コロナウイルス特例貸付が終了したことにより、貸付件数は昨年度より大幅に減少した。生活資金不足の新規相談が多くを占めているが、いずれも貸付要件には非該当。特例貸付借受人へのフォローアップ支援により、借受人に対して総合支援資金と教育支援資金の追加貸付をおこなった。
新規貸付件数	13	2	
貸付延件数	20	2	
内訳			
緊急小口資金	1	0	
総合支援資金	0	1	
その他	1	1	

(2) 生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業

事業概要	新型コロナウイルス特例貸付の借受人に対し、償還免除申請の案内に未応答の借受人や、償還免除に至らないものの償還が困難な借受人など、特に支援が必要な借受人へのフォローアップを行なう。
支援内容	・生活状況の確認や面談、償還免除申請の助言、生活再建に向けてサポート 等
支援件数	232件
考察・評価	生活状況の確認をする事により、生活保護に繋がったケースや免除申請を行っていない場合には申請に向けて助言を行なった。また関係機関とも情報共有を図り、20回を超える会議等を経て5名の借受人が生活保護受給および、本則の生活福祉資金貸付につながった。

7. 共同募金配分金事業

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金活動実績

種別	令和4年度(円)	令和5年度(円)
赤い羽根共同募金	1,508,914	1,422,698
歳末たすけあい募金	1,347,678	1,335,926
合計	2,856,592	2,758,624
考察・評価	募金については日本全国で減少傾向にあり、大山町も年々、募金実績は減っている。こうした状況下でも、継続して募金活動を行うことと、広報のやり方等、工夫して取り組んでいく。	

(2) 共同募金配分金活用助成事業

団体及び集落名	内容	
国信自治会	事業名	見守り活動を中心とした自治会活動の支援事業
	内容	手作業で行なっているものを機械化して調理作業の簡略化を行ない、空いた時間で見守り活動を主体とした地域活性化活動を充実させフレイル予防に繋げるために申請。
	購入品	電動粉ふるい機、セット台
倉谷集落	事業名	通いの場及び健康維持増進の継続のための備品購入事業
	内容	随時、集落の高齢者を中心に集まり、茶話会等を開催している。座敷での立ち座りがつらくなり、また膝痛・腰痛等の予防・防止のため、更には、健康体操をする際の用具として使用するパイプ椅子を購入するために申請。
	購入品	パイプ椅子(15脚)
飯戸集落	事業名	情報共有のためのデジタルカメラ購入事業
	内容	デジタルカメラを購入し集落活動への情報発信を行ない、集落内の危険個所の見える化または問題点の解決や各案件の情報共有等を図るために申請。
	購入品	デジタルカメラ
古原自治会	事業名	世代間交流のサロン活動や住民の意見交換会を行うための備品購入費事業
	内容	世代間のサロンや住民意見交換会のための座椅子を購入し、身体への負担を軽減し集落の住民の参加を促すことにより集落の住民の参加を促すことにより、集落の交流や意見交換会を継続していくために申請。
	購入品	座椅子(15脚)、講師謝金、資料代等

団体及び集落名	内容	
長田自治会	事業名	通いの場継続のための備品購入事業
	内容	長田自治会の住民の交流と健康増進を図るため急速な高齢化に対応し、座敷用の椅子を購入し、身体への負担軽減をはかり今後も交流の場を継続していくために申請。
	購入品	座敷椅子(18脚)
考察・評価	コロナ禍が縮小してきたことも影響して昨年(3団体)よりも申請数が増加。徐々に地域活動が再開してきている兆しである。	

(3) 赤い羽根タクシー券配布事業

実施期間	令和5年7月3日(月)～令和6年3月15日(金)
対象世帯	①集落内における満75歳以上(令和6年3月31日現在)の独居高齢者または高齢者世帯(夫婦等)を対象(※高齢者世帯(夫婦等)については一方が75歳以上ならば対象) ②運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持している場合は対象外)または自動車等を所持しておらず交通手段の確保が困難な世帯
配布世帯	166世帯(令和4年度 177世帯)
考察・評価	高齢者世帯等の交通ニーズは非常に高くなっている。今年度は、例年に比べてチケットの枚数を15枚に増やし運用を行った。利用回数・費用共に年々上昇しており、かなり町内に浸透してきた結果だと感じる。今後も継続的に運用を行っていく。

(4) 布団クリーニング事業(歳末たすけあい募金配分金事業)

実施期間	令和6年11月
対象世帯	①75歳以上の一人暮らし高齢者または高齢者世帯等(夫婦) ②運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持していれば対象外)
実施世帯	39世帯(令和4年度 46世帯)
考察・評価	対象者の数は昨年に比べやや減少した。

(5) 防災グッズ配布事業

実施期間	令和6年4月以降に実施予定
対象世帯	①75歳以上の一人暮らし高齢者または高齢者世帯等(夫婦) 運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持していれば対象外)
配布世帯	31世帯を配布予定(昨年度は19世帯)
考察・評価	令和6年能登半島地震により大量の防災グッズが被災地で使用されていることから、防災グッズの入手が非常に困難になっており、まだ対象者世帯に配布が出来ていない。

8. 生きがい活動支援地域型事業（ふれあい・いきいきサロン活動）

(1) ふれあい・いきいきサロン活動の普及促進

地区	令和4年度				令和5年度			
	大山	名和	中山	合計	大山	名和	中山	合計
実施回数	10	0	27	37	50	24	46	120
開催地区数	4	0	10	14	21	13	20	54
延べ参加者数	277名				1,098名			
考察・評価	<p>新型コロナウイルスが5類感染症となったことにより、サロンを休止していた集落の再開や新規開催集落が増えてきており、実施回数、開催地区、参加人数全てにおいて増加している。今年度より役場や各地域自主組織、暮らしの保健室など関係機関と一緒に共催することも増え、大山町シン・福祉ミーティングで情報交換を行えたことで、町全体でサロンへの関心が広まってきている。今年度より新たに追加したおでかけサロンは32回実施され、観光や食事、買い物など、新たなコミュニティとなってきている。</p>							

(2) ふれあい・いきいきサロン世話人研修会の開催

期日・会場	令和5年9月12日(火) 保健福祉センターなわ 多目的ホール
内容	・ニュースポーツ紹介(バグジー、あいうえお言葉作り) ・情報交換会
参加者数	20名
考察・評価	<p>令和5年度にサロンを実施している、または計画している集落の世話人や福祉推進員と、町内10の地域自主組織を研修対象として案内文書を送付し参加者を募る。</p> <p>前半は、講師である鳥取県レクリエーション協会の高松由美様にレクリエーションの紹介をしていただいた。後半ではグループに分かれ、サロンの現状や困り事など情報交換会の時間とした。参加者より、「情報交換する時間がもう少し欲しかった」や「他の班の話を聞きたかった」などの意見があった。今後は参加者同士が情報交換できる時間を長めに設定し行なっていく。</p>

9. 家族介護支援事業

(1) 家族介護者交流事業

期日・会場	令和5年11月1日(水) 榊水高原、レストランテ天空
内容	榊水高原散策、ポートレート撮影会、ランチ
参加人数	10名(令和4年度 6名)
考察・評価	参加者は前年度と比較して増加。町内数か所の介護施設のパンフレットを配布し、グループホーム、特別養護老人ホーム等、施設の特徴や様子などの説明を行なった。

(2) 家族介護教室事業

【第1回】

期日・会場	令和5年5月13日(土)保健福祉センターだいせん
内容	腰痛にならない介護方法
講師	ナチュラルハートフルネットワークとっとり西部しじみ会
参加人数	7名
考察・評価	理学療法士、作業療法士の資格を持つ講師から講義や実技指導を受けた。介護を負担なく行なうことができる道具の活用や、腰痛にならない介護方法などを学んだ。

【第2回】

期日・会場	令和5年9月8日(金)保健福祉センターだいせん
内容	高齢者の食事と手軽にできる朝食
講師	介護老人保健施設サンライズ名和栄養士
参加人数	9名
考察・評価	15分程度の講義を受けたのち、ほとんど火を使わず電子レンジの活用等で調理することで時間を短縮し、短時間で作れる朝食づくりを行った。食を通して人生を豊かにできることを学んだ。

10. 外出支援サービス事業

	令和4年度		令和5年度	
	延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数	実利用者数
		539	22	601
考察・評価	今年度は新規で3名利用があった。その内1名が透析を利用されている方で外出支援の利用回数は前年より回数が多くなった。			

11. 葬儀用祭壇の貸出実績

種別	中山支所		名和支所		合計	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
仏式祭壇	6	9	21	15	27	25
神式祭壇	0	0	2	1	2	1
合計	6	9	23	16	29	26
考察・評価	前年度よりも貸し出し件数が減少傾向である。					

12. 福祉バス運行実績

利用団体	令和4年度		令和5年度	
	利用回数	延べ人数	利用回数	延べ人数
町関係	5	93	3	71
社協関係	1	10	3	59
老人クラブ関係	8	114	11	193
身障協会関係	0	0	0	0
その他団体	0	0	2	33
合計	14	217	19	356
考察・評価	<p>コロナが5類感染症に移行になったこともあり、昨年に比べて利用回数・延べ人数どちらも増加した。</p>			

13. 福祉センター利用実績

(1) 福祉センターなかやま利用実績

利用団体	令和4年度		令和5年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
大会議室	24	555	13	349
中会議室	12	81	10	125
会長・常務室	31	82	0	0
軽作業室	8	40	16	69
介護者教育室	6	30	23	76
カウンセリング室	0	0	0	0
合計	81	788	62	619
考察・評価	<p>今年度は就労準備支援事業の実施拠点が変わり、会長・常務室の利用が無かったため利用回数としては減少した。軽作業室・介護者教育室では外部ボランティアの受け入れや、デイサービスの元気アップ教室で利用しているため利用回数が増えた。</p>			

(2) 保健福祉センターだいせん利用実績

利用団体	令和4年度		令和5年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
集会室	82	2,140	65	1,934
大会議室	3	11	7	145
中会議室	9	224	27	687
小会議室	10	226	27	687
相談室	2	10	1	4
2階研修室	4	38	23	284
1階研修室	19	209	20	222
調理実習室	12	101	24	271
機能訓練室	70	924	144	993
きゃらぼく室	66	259	108	366
工房	0	0	15	89
合計	277	4,142	461	5,682
考察・評価	<p>コロナが5類感染症に移行になったため、昨年に比べて利用件数は大幅に増加した。センターの利用に関する広報も行っているため、各方面から施設利用に関する問い合わせも増えてきている。</p>			

2. 就労準備支援事業

長期の引きこもりにより社会経験の少ない方や、稼働年齢層の生活保護受給者などを対象として事業を実施。それぞれの特性に配慮しながら就労に向けて支援している。令和5年度は計4名の新規利用があり、3名の就労が決定した。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	男性利用者 2名	4	7月	男性利用者 3名	8	10月	男性利用者 2名	7	1月	男性利用者 3名	3
	女性利用者 0名			女性利用者 0名			女性利用者 0名				
5月	男性利用者 3名	3	8月	男性利用者 3名	8	11月	男性利用者 3名	10	2月	男性利用者 3名	6
	女性利用者 0名			女性利用者 0名			女性利用者 0名				
6月	男性利用者 3名	10	9月	男性利用者 2名	8	12月	男性利用者 3名	9	3月	男性利用者 1名	8
	女性利用者 0名			女性利用者 0名			女性利用者 0名				
										延べ人数	84

3. 子どもの学習支援事業

令和5年度は3名の新規利用あり。そのうち1名は支援員が自宅に訪問する家庭教師型の方式を初めて取り入れており、より多様なニーズに対応することが可能となった。中学3年生の生徒2名については志望高に無事合格。保護者や学校関係者との情報共有も定期的におこなっている。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	中学生 3名	3	7月	中学生 4名	15	10月	中学生 4名	22	1月	中学生 4名	26
	小学生 0名			小学生 0名			小学生 1名				
5月	中学生 4名	12	8月	中学生 4名	16	11月	中学生 5名	26	2月	中学生 5名	25
	小学生 0名			小学生 0名			小学生 1名				
6月	中学生 4名	14	9月	中学生 4名	15	12月	中学生 5名	28	3月	中学生 5名	26
	小学生 0名			小学生 1名			小学生 1名				
										利用延べ人数	228

4. 家計相談支援事業

事業利用者の面談は基本的に月1回実施。生活面や家計の聞き取り及び状況に応じた助言を行った。

【支援実績】

利用者数	3名	支援延回数	18回
主な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家計管理表(収支シュミレーション)の作成 ・収支状況の聞き取りおよびレシートの確認 ・支出抑制への助言 		

5. 関係機関との連携

(1) 四半期連絡会および支援調整会議の開催

四半期毎の事業報告と自立支援プラン作成および更新時のケース検討を目的として、自治体など関係機関の職員を招いて定期的に開催した。

支援調整会議開催数	3回
四半期連絡会開催数	4回

(2) 関連会議および研修会への参加

自立支援推進会議のほか、相談員要請研修など様々な研修会に参加。三朝町ネットワーク推進会議では、大山町困窮事業の現状や課題、取り組みについて紹介した。

関連会議	2回
研修会／連絡会	8回

6. 広報・啓発活動

広報誌掲載	令和5年7月号(全戸配布)にて自立相談支援事業および就労準備支援事業を紹介した。
ホームページへの掲載	生活困窮者自立支援事業専用ページにて事業を紹介するとともに、メール相談窓口を開設している。
チラシやパンフレットによる広報	地域自主組織の活動拠点や、役場窓口にチラシやパンフレットを設置している。
町民対象の地域福祉座談会での事業説明	町内10集落で地域福祉座談会を開催し、生活困窮者自立支援事業の説明をおこなった。

介護保険事業・障がい福祉サービス事業

1. 居宅介護支援事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付	R4	97	104	95	96	97	98	95	96	99	89	89	93	1,148件
	R5	91	90	92	89	94	95	94	93	98	93	88	89	1,106件
予防給付	R4	28	26	27	28	26	27	28	28	30	31	29	33	341件
	R5	22	23	24	23	20	18	19	21	22	22	24	23	261件
ケアマネジメントA	R4	17	15	14	13	13	13	12	13	18	16	16	15	175件
	R5	18	19	19	20	18	17	18	17	14	14	14	14	202件
ケアマネジメントB	R4	10	10	11	12	12	13	11	12	4	4	4	4	107件
	R5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	59件
合計	R4	152	155	147	149	148	151	146	149	151	140	138	145	1,771件
	R5	136	137	140	136	137	135	136	136	139	134	131	131	1,628件
考察	在宅生活が続けられず入所となったケースが多く利用者数の減少はあるが、町内居宅介護事業所の休業に伴う利用者の受け入れ、新規利用者を断らずに対応しており、収支の大きな減少はない。													

2. 訪問介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	R4	75	91	83	74	89	123	112	101	116	103	113	126	1,206回
	R5	110	131	134	105	126	132	124	120	120	101	121	130	1,454回
生活援助	R4	127	121	127	119	115	90	98	103	99	96	104	115	1,314回
	R5	110	133	143	141	137	111	119	112	107	100	122	110	1,445回
身体生活	R4	28	39	36	35	40	43	34	38	39	29	20	36	417回
	R5	19	12	2	12	16	13	24	30	46	34	37	44	289回
総合事業	R4	115	106	118	105	105	99	103	118	91	84	93	98	1,235回
	R5	88	99	81	80	90	96	102	110	105	97	89	79	1,116回
合計	R4	345	357	364	333	349	355	347	360	345	312	330	375	4,172回
	R5	327	375	360	338	369	352	369	372	378	332	369	363	4,304回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数 (介護)	R4	30	30	28	27	30	28	28	28	29	27	28	29	342人
	R5	29	30	29	29	26	27	26	27	28	25	26	26	328人
実利用者数 (総合事業)	R4	21	18	21	20	19	18	19	19	17	17	17	15	221人
	R5	15	16	15	14	14	15	16	16	16	15	13	13	178人

※令和4年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 46.9人

※令和5年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 42.2人

考察	実利用者数は総合事業、介護ともに減少傾向。介護での利用者は、入所や死亡もあり、総合事業は、介護給付への移行や新規利用が少ないことから減少幅が大きい。 内容については、下半期は新規での身体生活が徐々に増加し、身体と生活についても昨年と比べ回数は増加している。													
----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 支援訪問介護だいせん(障がい福祉サービス事業)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	R4	62	61	60	65	65	58	63	67	60	58	53	55	727回
	R5	57	71	77	71	57	54	64	70	65	63	64	72	785回
生活	R4	35	33	30	35	42	42	44	40	32	36	34	38	441回
	R5	37	43	38	41	40	42	38	32	34	27	31	31	434回
合計	R4	97	94	90	100	107	100	107	107	92	94	87	93	1,168回
	R5	94	114	115	112	97	96	102	102	99	90	95	103	1,219回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	R4	10	10	9	11	11	11	11	10	10	10	9	9	121人
	R5	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	124人

※令和4年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 10.1人

※令和5年度 1ヶ月あたりの平均利用者数 10.3人

考察	10月から1名冬期中の期間による入院と新規1名で、実利用者人数の増減はない。全体の支援回数での大きな増減はないが、支援内容の見直しや支援実態に応じた請求区分(身体・家事)を見直した事により身体での援助の割合が増加している。													
----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4. 通所介護だいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R4	21	22	22	20	23	22	21	22	22	17	20	23	255日
	R5	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	21	257日
(介護)延べ利用者数	R4	353	392	434	346	433	431	424	434	439	277	324	450	4,737人
	R5	389	438	448	408	387	443	420	400	403	379	334	384	4,833人
(総合)延べ利用者数	R4	84	85	82	84	89	103	88	93	102	65	84	92	1,051人
	R5	82	94	89	80	80	81	85	77	73	59	85	79	964人
合計	R4	437	477	516	430	522	534	512	527	541	342	408	542	5,788人
	R5	471	532	537	488	467	524	505	477	476	438	419	463	5,797人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 22.7人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数 22.6人

考察	<p>7月は入所、ショート利用があり利用者数の減少がみられた。8月には新型コロナ陽性者が発生。休業はせず利用者に意向を確認し、利用希望者の受け入れを行なった。結果休まれた方もおられ利用者数の減となった。</p> <p>11月以降入所、入院等があり利用終了となられる方の増加がみられた。特に1月以降は体調不良で休まれる方もあり、より利用者数の減少へとつながった。新規利用者の依頼があれば断ることなく受け入れている。</p> <p>外部団体との交流や外出行事もできるようになっており、今後も楽しんでいただけるような取り組みにつなげていきたいと考えている。</p>
----	---

【元気アップ教室だいせん(通所型サービスA)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R4	4	3	5	3	3	5	4	3	4	4	3	5	46日
	R5	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	50日
延べ利用者数	R4	15	9	13	9	9	14	11	8	12	11	3	18	132人
	R5	23	15	26	22	27	23	22	23	22	23	34	27	287人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 2.9人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数 5.7人

考察	<p>5月は祝日があり営業日数が減ったため延べ利用者数の減となったが、新規利用者数が増えたことにより前年度に比べ平均利用者数も増となっている。</p> <p>2月より新規利用者1名あり利用者数7名と、人数の増加に伴い収支も増となっている。</p> <p>おやつ作りや、外出行事でお買い物にも出かけられたり、季節の作品作りにも取り組まれており、楽しんでいただけるような場作りをしていきたい。</p>
----	--

5. 支援通所介護だいせん(障がい福祉サービス)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R4	21	22	22	20	23	22	21	22	22	17	20	23	255日
	R5	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	21	257日
延べ利用者数	R4	8	13	14	14	14	13	13	13	13	8	10	13	146人
	R5	11	13	13	13	13	13	13	7	0	0	0	0	96人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 0.6人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数 0.4人

考察	<p>利用者数は1名であり、前年度とほぼ横ばいで推移している。11月途中より介護保険へと移行されたため現在利用者数は0となっている。</p>
----	--

6. 地域密着型通所介護ほほえみ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R4	21	22	22	21	23	22	21	22	22	22	20	23	261日
	R5	20	23	22	21	23	21	22	22	21	23	21	21	260日
(介護)延べ利用者数	R4	194	215	222	213	212	235	245	231	228	217	223	241	2,676人
	R5	224	259	257	253	255	265	269	282	276	244	225	221	3,030人
(総合)延べ利用者数	R4	0	0	0	0	0	0	0	0	32	26	28	48	134人
	R5	46	54	62	54	58	47	48	41	29	33	35	27	534人
合計	R4	194	215	222	213	212	235	245	231	228	217	223	241	2,676人
	R5	270	313	319	307	313	312	317	323	305	277	260	248	3,564人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 10.3人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数 13.7人

考察	<p>利用者数については、月により入院やショート利用があり減少した月もあったが、新規利用の依頼も多くあり、曜日により定員の18名利用となる日があるなど前年と比較し大幅に増加。収支も黒字となった。冬季に入りショート利用や2月にはデイ内でのコロナ感染者が増加した為、利用を控えられた方があり、減少した。また体調の急変により、入院された方、永眠された方があり、かなりの減少傾向となった。</p> <p>本年度は新型コロナを取り巻く状況も緩和し、今まで行っていた行事が開催できるようになり、外部団体、ボランティアの訪問やおやつ作り、職員による演芸、花見など季節の行事が実施出来た。4月、10月には運営推進会議を行い、写真を通じてデイの様子を紹介を行った。事業所に対する助言を頂き、利用者増に向けて来年度に活かしていきたい。</p>
----	---

【元気アップ教室ほほえみ(通所型サービスA)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R4	21	22	22	21	23	22	21	22	1	0	0	0	175日
	R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	12日
延べ利用者数	R4	36	41	42	43	48	40	32	32	0	0	0	0	314人
	R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	24人

※令和4年度 1日あたりの平均利用者数 1.8人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数 2.0人

考察	令和6年1月から2名の利用希望があった。現在も毎週休まれることなく、利用いただいている。
----	--

7. サポートセンターだいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者相談支援	R4	19	21	15	20	18	17	21	23	17	17	17	17	222件
	R5	19	23	18	16	21	23	25	28	18	21	28	28	268件
障害児相談支援	R4	3	3	3	5	4	6	6	3	4	4	2	7	50件
	R5	6	4	4	4	3	4	4	3	3	6	3	7	51件
請求件数	R4	22	24	18	25	22	23	27	26	21	21	19	24	272件
	R5	25	27	22	20	24	27	29	31	21	27	31	35	319件
一般相談	R4	2	1	4	1	2	4	3	5	4	1	8	1	36件
	R5	7	5	9	6	5	3	7	5	8	5	2	4	66件

考察	<p>障がい(者)の計画相談は増加となり、特に就労継続支援A型への依頼が多く見られた。障がい(児)の相談については昨年並みで依頼を受け、専門的療育に繋げた。一般相談についても増加となり、障がいを持つ方の自立に向けての支援を中心にかかわることができた。</p> <p>収支については、障害福祉サービス利用コーディネート機能強化事業補助金の交付があり収入増。前年度比で赤字幅は減少している。</p>
----	---

令和5年度 職員研修及び会議等参加状況報告

	期日	内容	参加数	関係課
1	4月6日	日常生活自立支援事業新任担当職員研修	2名	福祉総務課
2	4月12日	生活福祉資金市町村社協担当職員担事業説明会	3名	福祉総務課
3	4月19日	青少年育成大山町民会議「高校生朝のあいさつ運動」	1名	その他
4	4月20日	市町村老ク連事務局会議	1名	福祉総務課
5	4月26日	第1回大山町水道審議会	1名	その他
6	4月26日	生活困窮者自立支援事業四半期連絡会	5名	福祉総務課
7	4月28日	2024年トリプル改正対応研修	2名	介護課
8	4月28日	通所介護だいせん運営推進会議	3名	介護課
9	4月28日	生活困窮者自立支援事業初任者研修会	1名	福祉総務課
10	5月12日	第1回介護支援事業所合同研修会	4名	介護課
11	5月17日	地域共生社会における医療・多職種連携による認知症支援策	2名	介護課
12	5月17日	安全衛生推進者(衛星推進者)養成講習 ※5/18まで	1名	福祉総務課
13	5月23日	第1回市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長会議	1名	その他
14	5月23日	家計改善支援事業ケース会議	2名	福祉総務課
15	5月25日	第1回大山町地域包括支援センター連絡会・講演会	2名	介護課
16	5月30日	第2回大山町水道審議会	1名	その他
17	5月31日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務に係る担当職員研修	3名	福祉総務課
18	6月3日	主任介護支援専門員更新研修(合計16回) ※10/21まで	1名	介護課
19	6月6日	ボランティアコーディネーター養成研修	1名	福祉総務課
20	6月9日	第1回大山町地域公共交通会議	1名	その他
21	6月15日	地域密着型通所介護ほほえみ運営推進会議	3名	介護課
22	6月16日	えんくろり相談員連絡会	1名	福祉総務課
23	6月19日	市町村社会福祉協議会新任職員研修【1日目】	3名	共通
24	6月22日	生活支援コーディネーター研修(基礎編)	3名	福祉総務課
25	6月23日	支え愛マップづくり関係者連絡会	2名	福祉総務課
26	6月26日	ボランティア連絡協議会	3名	福祉総務課
27	6月27日	主任介護支援専門員研修(合計15回) ※11/7まで	1名	介護課
28	6月28日	市町村社会福祉協議会新任職員研修【2日目】	3名	共通
29	6月28日	第3回大山町水道審議会	1名	その他
30	6月30日	ねんりんピック大山町実行委員会運営会議	1名	福祉総務課
31	7月4日	生活困窮者自立支援事業圏域別担当者連絡会	2名	福祉総務課
32	7月6日	支え愛マップづくりインストラクター養成研修【1日目】	2名	福祉総務課
33	7月6日	安全運転管理者講習	1名	福祉総務課
34	7月14日	第2回介護支援事業所合同研修会	4名	介護課
35	7月19日	生活困窮者自立支援事業四半期連絡会	4名	福祉総務課
36	7月21日	居宅介護支援事業所管理者意見交換会	1名	介護課
37	7月21日	地域医療を考える会	2名	福祉総務課
38	7月25日	支え愛マップづくりインストラクター養成研修【2日目】	2名	福祉総務課
39	7月26日	全国福祉教育推進員研修【オンデマンド配信】	2名	福祉総務課
40	7月28日	第4回大山町水道審議会	1名	その他
41	7月28日	大山口列車空襲慰霊祭・平和祈念の集い	1名	その他
42	7月28日	三朝町生活困窮者地域支援ネットワーク推進会議(事例発表)	1名	福祉総務課
43	8月2日	安全運転管理者講習	1名	共通
44	8月2日	各市町村身障協会実施事業等の発表会	1名	福祉総務課
45	8月3日	日常生活自立支援事業第2回専門員連絡会	2名	福祉総務課
46	8月3日	大山町人権尊重の社会づくり審議会	1名	福祉総務課
47	8月8日	成年後見「何でも相談会」	1名	介護課
48	8月8日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(中堅職員コース 1日目)	3名	共通
49	8月9日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(中堅職員コース 2日目)	3名	共通
50	8月10日	全国福祉教育推進員研修【集合研修】	2名	福祉総務課
51	8月17日	老人クラブ連合会 全国健康福祉祭鳥取大会説明会	1名	福祉総務課
52	8月23日	発達障がい研修会(サポート)	2名	介護課

	期日	内容	参加数	関係課
53	8月23日	ボランティアコーディネータースキルアップ研修	1名	福祉総務課
54	8月24日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修(都道府県研修①)	1名	福祉総務課
55	8月25日	第5回大山町水道審議会	1名	その他
56	8月25日	日常生活自立支援事業県社協巡回訪問	2名	福祉総務課
57	8月29日	生活困窮者自立支援推進会議	1名	福祉総務課
58	9月1日	日常生活自立支援事業ケース会議	1名	福祉総務課
59	9月4日	生活支援コーディネーター情報交換会(西部地区)	3名	福祉総務課
60	9月6日	ひきこもりサポーター養成研修会	1名	福祉総務課
61	9月7日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(チームリーダーコース 1日目)	2名	共通
62	9月8日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(チームリーダーコース 2日目)	2名	共通
63	9月12日	家計改善支援事業ケース会議	1名	福祉総務課
64	9月14日	介護専門職研修(介護記録の書き方)	1名	介護課
65	9月15日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修(都道府県研修)②	1名	福祉総務課
66	9月20日	サービス担当者会議取説研修	1名	介護課
67	9月22日	相談支援専門員現任研修会(サポート)	1名	介護課
68	9月26日	メンタルヘルス研修	2名	共通
69	9月26日	第1回「高校生あいさつ・交通マナー運動」	1名	その他
70	9月26日	大山町地域包括支援センター運営協議会	1名	その他
71	9月26日	大山町認知症初期集中支援チーム検討委員会	1名	その他
72	9月26日	第1回大山町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会	1名	その他
73	9月26日	第1回社協職員オンラインサロン	1名	福祉総務課
74	9月28日	第6回大山町水道審議会	1名	その他
75	9月29日	介護専門職研修(接遇・対応力向上)	1名	介護課
76	9月30日	第70回西部在宅ケア研究会	1名	介護課
77	10月5日	生活支援コーディネーター研修(実践編)	3名	福祉総務課
78	10月5日	日常生活自立支援事業第3回専門員連絡会	1名	福祉総務課
79	10月8日	法テラス鳥取地方協議会	1名	福祉総務課
80	10月11日	認知症の理解と疾患別のケア	1名	介護課
81	10月13日	日常生活自立支援事業第4回内部審査会	3名	福祉総務課
82	10月13日	サービス担当者会議の取説研修	1名	介護課
83	10月14日	令和5年度社会福祉法人会計実務講座(初級コース 1日目)	1名	福祉総務課
84	10月15日	令和5年度社会福祉法人会計実務講座(初級コース 2日目)	1名	福祉総務課
85	10月16日	令和5年度社会福祉法人会計実務講座(初級コース 3日目)	1名	福祉総務課
86	10月20日	鳥取県西部地区高齢者健康運動会	2名	福祉総務課
87	10月24日	第2回社協職員オンラインサロン	1名	福祉総務課
88	10月25日	在宅介護DX研修	1名	介護課
89	10月26日	安全運転管理者学習会	2名	共通
90	10月27日	西伯郡身体障害者福祉協会スポーツ教室	2名	福祉総務課
91	10月中旬～	日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修(基本研修)	1名	福祉総務課
92	11月1日	日常生活自立支援事業第5回内部審査会	3名	福祉総務課
93	11月6日	大山町地域包括支援センター研修	5名	介護課
94	11月6日	食でつながるプラットフォームづくり 麒麟のまち研修会	2名	福祉総務課
95	11月7日	鳥取県身体障がい者福祉大会	1名	福祉総務課
96	11月7日	第2回大山町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会	1名	その他
97	11月15日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(管理職員コース 1日目)	1名	共通
98	11月16日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程(管理職員コース 2日目)	1名	共通
99	11月21日	福祉有償運送運転者講習	2名	福祉総務課
100	11月21日	令和6年度報酬改定研修(福祉用具貸与)	1名	介護課
101	11月22日	日野町災害ボランティアセンター運営者研修	1名	福祉総務課
102	11月25日	介護支援専門員連絡協議会	1名	介護課
103	11月27日	地域包括支援センター研修会(事例検討会)	4名	介護課
104	11月28日	第1回大山町障害者計画・障害福祉計画及び障害児福祉計画策定委員会	1名	その他
105	11月29日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援業務に係る担当職員研修	3名	福祉総務課
106	11月30日	鳥取県ヤングケアラーフォーラム兼支援者研修会	2名	福祉総務課

	期日	内容	参加数	関係課
107	11月30日	社会福祉法人人事・組織管理研修会	1名	その他
108	11月30日	第2回大山町地域公共交通会議	1名	その他
109	12月2日	日野町災害ボランティアセンター運営者研修	1名	福祉総務課
110	12月5日	令和5年度 社会福祉法人 会計実務研修Ⅱ(財務分析)	1名	福祉総務課
111	12月5日	日常生活自立支援事業生活支援員地区別研修会	2名	福祉総務課
112	12月7日	介護記録研修(記録の重要性と適切な記録作成について)	1名	介護課
113	12月7日	日常生活自立支援事業第4回専門員連絡会	1名	福祉総務課
114	12月8日	多職種協働地域連携研修会	2名	福祉総務課
115	12月8日	鳥取県障がい者作品展示会	1名	福祉総務課
116	12月11日	鳥取県障がい者作品展示会	1名	福祉総務課
117	12月12日	第2回市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長会議	1名	その他
118	12月15日	えんくろり相談員連絡会	1名	福祉総務課
119	12月15日	第3回居宅介護支援事業所合同研修会	4名	介護課
120	12月18日	介護記録研修(記録の重要性と適切な記録作成について)	1名	介護課
121	12月18日	法人後見に関する意見交換会	2名	福祉総務課
122	12月26日	第3回大山町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会	1名	その他
123	1月11日	生活困窮者自立支援制度ブロック別研修	1名	福祉総務課
124	1月12日	生活困窮者自立支援制度ブロック別研修	1名	福祉総務課
125	1月16日	地域貢献セミナー	1名	福祉総務課
126	1月18日	生活困窮者自立支援制度テーマ別研修	1名	福祉総務課
127	1月18日	第2回大山町障害者計画・障害福祉計画及び障害児福祉計画策定委員会	1名	その他
128	1月18日	適切なケアマネジメント手法研修	1名	介護課
129	1月23日	セミナー「地域で支える障がい者雇用～雇用の不安を乗り越えて～」	1名	その他
130	1月30日	よなご若者サポートステーションセミナー	2名	福祉総務課
131	1月30日	「続・みんなのストレス波乗り術～臨床心理学の現場から～」	2名	福祉総務課
132	1月30日	第4回大山町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会	1名	その他
133	2月1日	コミュニケーション向上研修	1名	介護課
134	2月1日	日常生活自立支援事業第5回専門員連絡会	1名	福祉総務課
135	2月6日	日常生活自立支援事業第6回内部審査会	4名	福祉総務課
136	2月6日	介護報酬改定WEB研修	7名	介護課
137	2月7日	福祉の職場で働く看護職員研修	1名	介護課
138	2月8日	生活困窮者自立支援制度人材養成研修(都道府県研修)	1名	福祉総務課
139	2月8日	介護支援専門員連絡協議会研修会	1名	介護課
140	2月16日	医療と介護連携研修会	1名	介護課
141	2月19日	鳥取県老人福祉施設協議会定期総会	1名	介護課
142	2月20日	生活支援コーディネーター研修(フォローアップ編)	2名	福祉総務課
143	2月20日	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームin麒麟のまち	1名	福祉総務課
144	2月28日	ヒューマンエラーを防ぐ職場作り・コンプライアンス強化の為の職場環境	4名	介護課
145	2月28日	労務管理研修	5名	共通
146	2月28日	中間的就労支援推進セミナー	1名	福祉総務課
147	2月28日	人権と福祉のまちづくり講座	1名	福祉総務課
148	2月28日	コンプライアンス研修	5名	共通
149	3月4日	鳥取県社会福祉協議会「外部有識者による交付金事業効果検証委員会」	1名	その他
150	3月7日	生活困窮者自立支援事業の人材育成に係る研修企画検討会	1名	その他
151	3月8日	西伯郡身体障害者福祉協会西部地区スポーツ教室	2名	福祉総務課
152	3月8日	ボランティア連絡強化会議	1名	福祉総務課
153	3月8日	介護報酬改定研修	5名	介護課
154	3月14日	デイサービス稼働率upオンライン研修会	3名	介護課
155	3月18日	第3回大山町障害者計画・障害福祉計画及び障害児福祉計画策定委員会	1名	その他
156	3月22日	介護報酬改定研修	1名	介護課
157	3月26日	障害福祉報酬改定研修	3名	介護課
158	3月27日	介護報酬改定研修	2名	介護課
159	3月28日	介護報酬改定事業者説明会	5名	介護課